

生涯学習施設整備に関する意見交換会（中条地区区長会）

会議録要約

●開催概要

開催日	令和 7 年 10 月 21 日（火）
時 間	午後 6 時 00 分～午後 7 時 00 分
会 場	中条中央公民館 2 階 西集会室
参加者	21 名 水沢町、表町、新栄町、西栄町 1、東本町 2、東本町 4、東本町 7、若松町 2、若松町 3、住吉町、星の宮町 1、柴橋、船戸、長橋、関沢、半山、本郷町、西条町 1、野中、追分、つくし町
市出席者	井畑市長、中澤教育長、佐久間課長、石山参事、脇川主任

1 市長あいさつ

市 長	○市長選挙を経て、新たな任期が始まりました。今後も区長の皆様と意思疎通をしっかりと図り、様々な課題に望ましい方向付けを行ってまいりたいと考えております。 ○生涯学習施設は、多くの市民に喜ばれ、末永く愛される施設を目指しています。幅広い年代層に利用される施設を目指し、図書館機能や公民館機能を備え、さらに子育て世代をはじめとする多世代が交流する場を設けることで、生涯学習施設として学びと繋がりを深める施設の整備を進めてまいります。 ○施設の整備にあたり、広い空間と、可能であれば緑のある環境が望ましいと考えています。手狭で窮屈な施設では、ゆとりや憩いの場としての機能を十分に確保しづらいため、皆様からのご意見をいただきながら、整備案を検討しています。 ○10 年後に中学校の再編統合を進める必要があります。これに関連して、生涯学習施設の用地と中学校の用地を整合性を持たせながら進める必要があります。 ○中学校の統合再編については、現状の中条中学校を広げ、敷地をゆったりと確保して統合校を整備するのが望ましいと考えています。現在の中条中学校の生徒はほぼ 100%徒歩か自転車で通学しており、それが叶えられ、その他スクールバスということを考慮しています。生涯学習施設の用地と統合中学校の用地については整合性を保ちながら整備を進める必要があると考えています。
-----	--

	○4つの地区にある既存の公民館や図書館機能は基本的に維持していくことは、施設整備に付随する事項として捉えています。 ○誰もが歩いて行ける場所が理想的ですが、市民全体の利用を考慮すると、すべての人が歩いて行ける場所を選ぶことは難しいという現実があります。歩いて行ける場所が望まれています、すべての方が歩いて行ける立地は成り立ちえません。そのため、中心市街地からあまり遠くない、ゆとりのある場所を選定することが基本的な方針と考えています。 ○嘉平山が有力な候補地として挙がっていますが、まだ決定したわけではなく、場所については様々な意見を尊重しながら決めていきたいと考えています。強引に進めるつもりはありません。 ○大切なことは、さまざまな方々の意見を尊重しながら、皆様に喜んでいただける施設の場所を選び、整備を進めていきます。
--	--

2 事務局説明

事務局	(1) 胎内市生涯学習施設整備基本計画(案)について ○施設の基本的な考え方・コンセプト ・本施設は、胎内市生涯学習施設整備基本構想を踏まえ、「つなぎ・はぐくむ」情報・文化・交流拠点を基本理念とします。 ・公民館や図書館機能に加えて、子ども、子育て世代を中心に、多世代が集う交流の場を創出する多世代交流拠点を目指しています。 ・施設イメージとしては、公民館・図書館の機能を備えつつ、多世代が交流できる場とし、子どもから高齢者まで全市民を対象とします。 ○施設の内部・外部空間 ・施設内は、来館者が快適に過ごせるゆったりとした空間とします。 ・屋外には、子どもたちが自由に遊べる遊具施設を設けた広場や、多様な人々が交流できるスペースの整備を検討しています。 ○規模と事業費 ・規模は、延べ床面積は概ね 4000 m²を想定しており、設計段階で規模をコンパクトにする方向で検討しています。 ・総事業費は約 45 億円で建設コストの最大値として想定しています。 ○建設候補地の条件 ・建設候補地に求められる条件として、ゆとりある空間の創出、周辺環境との調和、利用者の動線やアクセスのしやすさ、ゆとりある駐車スペースの確保を挙げています。
-----	---

	- 候補地としては、ふれすぽ胎内周辺、中央公民館周辺、中条駅周辺、関沢地内（嘉平山）、旧柴橋小学校の５つの地域が挙げられ、それぞれにメリットとデメリットがあります。 - ふれすぽ胎内周辺 大型駐車場を併用可能、体育施設との連携や併用が可能、市有地のため用地購入費が不要ですが、駅や中心市街地から離れており、十分な敷地面積の確保が難しい。 - 中央公民館周辺 駅や中心市街地に近く、現行の中条地区の利用者にとって利便性が高く、市有地のため用地購入費が不要ですが、周辺道路が狭く、混雑や安全面の懸念、将来的には中学校統合の建設用地となる可能性があります。 - 中条駅周辺 駅や中心市街地に近く、駅利用者には利便性が高いが、周辺道路が狭く、新施設の出入りや電車発着時に混雑が予想されます。適した用地の確保が現実的に難しい。 - 関沢地内（通称嘉平山） 駅や中心市街地に比較的近く、広い敷地と静かな環境が整っており、市有地のため用地購入費が不要ですが、進入道路や上下水道等のインフラ整備が必要、幹線道路や市街地からは見えにくい。 - 旧柴橋小学校 静かな環境にあり、市有地のため用地購入費が不要ですが、周辺道路が狭く、混雑や安全面に課題があります。 - 当初の基本計画案では、敷地の広さに余裕があり、幹線道路からのアクセスが良好で、まとまった駐車スペースの確保が可能であることに加え、豊かな自然に囲まれた静かな環境が提供できるため、関沢地内（通称嘉平山）を有力候補地として位置付けていました。 ○市民の意見と今後の方向性 - パブリックコメントや市民説明会でいただいた様々なご意見を踏まえ、現時点の基本計画（案）には、有力候補地の記載の代わりに比較表を掲載しました。 - 今後、専門家や市民からなる審議会を設置し、意見を集約しながら最終的な判断を行う予定です。 ○現在の公民館・図書館の維持について - 生涯学習施設が中心市街地以外に建設される場合、中条地区においても、乙・築地・黒川地区と同様に引き続き維持していく方針です。
--	--

	(2) 生涯学習施設のこれまでの経緯について ○これまでの経緯 ・令和元年 8 月に胎内市生涯学習施設整備検討委員会を設置し、副市長や教育長をはじめとする 14 名で協議を行いました。また、市民参加型ワークショップも開催し、延べ 80 名の方々から貴重な意見をいただきました。 ・これらの意見を基に基本構想案を作成し、令和 5 年 3 月にまとめましたが、新型コロナウイルスの影響や新たな整備手法の検討に時間を要し、最終的な基本計画案が整ったのは本年 3 月となりました。 ○候補地に関する意見 ・当初、関沢地内の嘉平山を有力候補地として示しましたが、候補地の選定プロセスが不透明だと感じた市民から再考を求める声などがあり、4 月から 6 月に実施したパブリックコメントでも「市街地から遠い」「徒歩での利用が難しい」といった意見が多く寄せられました。 ・5 月に実施した座談会では、子育て世代からは広い駐車場や屋外スペース、小学生と幼児が遊べる屋内施設を求める声がありました。 ○統合中学校との関連 ・候補地の選定にあたっては、統合中学校の建設場所とも関連するため、検討内容との整合性を図りつつ方向性を定めていく必要があります。 ○今後のスケジュール ・4 月から実施したパブリックコメントを踏まえ、現在、第 2 回のパブリックコメントを実施しています。 ・多様な意見を望ましい方向にまとめるために有識者や市民で構成される審議会を設置します。その後、諮問・答申を経て、最終決定を行っていく予定です。
--	---

3 質疑

参加者	○建設費用が 45 億円ということは、今後メンテナンスには多額の費用が必要になると思います。 ○嘉平山付近の土地であれば国道に近く、道の駅のようなものを作れば、市としても稼げるのではないかと思います。 ○市外の人々を呼び込み、地区の農産物などを販売することができ、稼げる施設にすれば、メンテナンス費用も市の負担が少なくなると
-----	---

	思います。 ○道の駅であれば、国からの助成金も出るのではないかと思います。現在の胎内市内の道の駅は機能を果たしていないため、この機会に検討してはどうでしょうか。
市 長	○45億円については、担当からも説明があったように、できるだけコストダウンを図っていきます。 ○洋上風力発電が実現すれば、非常に大きな固定資産税収入が見込まれ、大きな経済効果が期待されます。 ○当然イニシャルコストやランニングコストはできるだけ抑える必要があると認識しています。 ○イニシャルコストやランニングコストを抑えつつ、儲かる、稼げる要素も取り入れられれば、道の駅的なものに限らず、PPP（公民連携）の形で、相乗効果が高まると考えています。魅力のある施設とコストに関して低減できるよう考えていきます。
参加者	○説明を聞いて、5ヶ所の候補地のメリット・デメリットを見ると、嘉平山が一番望ましいと考えました。しかし、最も問題になるのはアクセスだと思います。高齢者や運転免許証を持たない方でも施設に行けるバスのような交通手段を考えれば、理解を得られると思います。 ○嘉平山への入り口について、地図を見てもわからないので、どこから入るのかを教えて欲しいです。 ○基本計画に「すべての人が安心して利用できる施設」とあり、特に障がい者や幼児、高齢者が安心して利用できる施設を考えるとありますが、具体的にどのような設備・施設を想定しているのか、具体例を教えてください。
市 長	○嘉平山へのアクセスについて、黒川方面から来ると関沢の交差点で左折し、ヤマダ電機の裏側に位置する場所になります。嘉平山は高い場所ではなく、左折したらすぐにアクセスできる位置にあります。 ○循環バスの導入についても考えており、デマンドタクシーのほかに、便数が限られてもバスを利用して施設にアクセスできるようにする意義があると考えており、併せて、検討していけたらと思っています。現状、車の運転手が少ないため、すぐに実現は難しいかもしれませんが、今後検討していきたいテーマだと思っています。 ○施設はバリアフリーを意識しており、例えば複層階の場合、エレベーターを設置するなどの配慮を考えています。また、車椅子の利用

	者が移動しやすいように、スロープや手すりを設け、トイレも使いやすいように配慮します。現代のニーズを踏まえ、車椅子でも上がれるような施設設計や施設内や駐車場から建物へのアクセスなど、最大限の配慮を尽くしてまいりたいと思っております。
参加者	○嘉平山が妥当だと思いながらも、10月14日のNHKの「クローズアップ現代」で岐阜の事例を見ました。番組では「にぎやかな図書館」として人が集まる場所が紹介されており、嘉平山にも同様の発展を期待したいと思いました。道の駅的な構想も含め、人が集まり語れる場にしてほしいと思います。
市長	○皆さんからいただいた意見やアイデアを今後も反映し、多くの人が集まり親しんでいただける施設整備を進めていくことが我々の課題であると受け止めています。できることからしっかりと取り組んでいきたいと思います。
参加者	○道の駅に関する話について、岩手県にある公民館や図書館機能が併設されている事例があり、そこでは産直市場もあり、とても賑わっていました。施設の効果や集客力について調べて、参考にさせていただければと思います。 ○普段車を使わない人々が学校帰りに立ち寄れる場所として駅の方が使いやすいし行きやすいです。誰が使うかを考えて進めてもらいたいと思います。
市長	○言及された岩手県紫波町のオガール紫波のような例を参考にし、複合施設は経費の節減など様々な相乗効果を生んでいけるという意味で大切だと思います。よく考えさせていただきたいと思います。 ○胎内市の中条駅周辺には市有地がなく、現実的には大規模な買収が必要となるため難しいというのが現実です。ただし、公共交通手段を補う方法を考え、安全な道筋を確保しながら進めていきたいと思っています。 ○拙速にならないように進めるべきで、施設は拡張性を持たせて二次、三次計画的な視点も大事だと思います。
事務局	○紫波町で視察した施設は、農産物の直売所、図書館、保育園、子育て支援センターなどが一つの建物内に集約された複合施設で、民間のノウハウを取り入れた運営が行われています。さまざまなイベントも催され、3万人ほどの人口規模ですが、図書館利用者で年間で15万人ほどと伺っています。
参加者	○嘉平山には過去に採掘跡があり、地形が未完成で整地されていないことに危惧していました。

	○立面図がなく、最終的にどんな建物が建つのかイメージが湧かない。周辺環境が整備され、何を作ろうとしているのか具体的に示されることで、イメージが湧くと思います。 ○嘉平山周辺には将来の発展性があります。 ○半山と飯角の地域は地震によって孤立する可能性があります。嘉平山に建物を建てることでアクセス道路の整備が進み、防災面や発展性が期待できると考えます。
市 長	○嘉平山は、広さと設計の自由度を十分に持つ場所です。造成は必要ですが、建物を作る際に自由に設計できる点が大きな長所です。 ○嘉平山で施設を作る際には、この楕形山脈を借景できる点も魅力的です。 ○施設設計には、安全安心を確保しつつ、夢を持てるようなコンセプトを考えていきます。特に安全安心の部分については、自然災害対策の視点も持ちながら、将来的に夢を実現できるよう、今から考えていくべきだと考えています。
参加者	○嘉平山に施設ができれば、学生たちがスポーツなどを行える場として利用でき、さらに良いと思います。 ○現在、周辺地域には商店が少ないが、嘉平山に施設ができることで、商店が増え、地域が活気が取り戻ってくれば良いなと思っています。 ○星の宮町に食料農業大学のトレーニングルームがあり、そういった方々が安全に道路でトレーニングできるような環境を整えば、さらに良いと考え、嘉平山が良いと思っています。
市 長	○どの候補地にも一長一短があるが、皆でよく考え、納得できる場所を選び、施設整備を進めていくことがポイントであると考えています。
参加者	○中条駅以外のどの候補地も面積的には適しており、特段の良し悪しはないと思います。 ○様々な意見を踏まえて基本構想と基本計画が変わった場合、令和12年（正しくは令和11年度の予定）の供用開始までに間に合うのかと思いますし、仮に間に合わなくてもきちんと練り直して進めれば整合性が取れると思います。 ○中条地区は関心が高いが、他の3地区の意見が反映されていないと思います。 ○地区の意見がどう反映され、どう扱われ、どう影響するかが気になります。

市 長	○図書館機能、公民館機能、交流機能を含む中核部分はしっかりと進めることをポイントに、その後に必要な施設や機能を、広げていける範囲で拡充していけばよいと考えています。 ○施設の整備が中条地区だけでなく、全市民に向けて行われるべきであるので、地域の場所にこだわらず、広く市民に使っていただけるような施設を考えています。 ○4 地区区長会の意見を最大限尊重して進めていきます。 ○審議会を設け、保護者や地区、専門家的知見を有する方々を含めた中で、大筋の所を案として頂戴したいと考えています。それをもとにして我々のところで最終的に議決が必要なものは議会議決をいただいて進めてまいります。そして、各地区でのご意見をフィードバックしながら、最終的に方針決定する流れで考えています。
-----	--